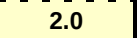
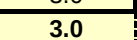
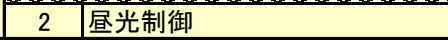
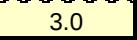
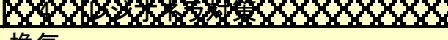
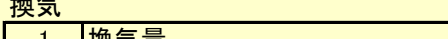
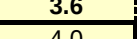
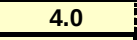


CASBEE-広島（2010年ver.1）
安佐南工場焼却施設

 用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築（簡易版）2008年
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
			評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質							3.4		
Q1 室内環境				0.32			2.9		
1 音環境			2.0	0.15		-	2.0		
1.1 騒音			2.0	0.40		-			
1	暗騒音レベル		2.0	1.00		-			
				-		-			
1.2 遮音			2.2	0.40		-			
1	開口部遮音性能		3.0	0.60		-			
2	界壁遮音性能		1.0	0.40		-			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-			
1.3 吸音			2.0	0.20		-			
2 温熱環境			2.3	0.35		-	2.3		
2.1 室温制御			3.3	0.50		-			
1	室温設定		3.0	0.38		-			
				-		-			
3	外皮性能		3.0	0.25		-			
4	ゾーン別制御性	方位、用途によりゾーニングを行っている上、個別冷暖房が選択可能	4.0	0.38		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
2.2 湿度制御			2.0	0.20		-			
2.3 空調方式			1.0	0.30		-			
3 光・視環境			2.6	0.25		-	2.6		
3.1 屋光利用			1.8	0.30		-			
1	屋光率		1.0	0.60		-			
2	方位別開口			-		-			
3	屋光利用設備		3.0	0.40		-			
3.2 グレア対策			3.0	0.30		-			
				-		-			
2	屋光制御		3.0	1.00		-			
3.3 照度			3.0	0.15		-			
1	照度		3.0	1.00		-			
				-		-			
3.4 照明制御			3.0	0.25		-			
4 空気質環境			4.4	0.25		-	4.4		
4.1 発生源対策			5.0	0.50		-			
1	化学汚染物質	建築基準法規制対象外となる建材を全面的に使用	5.0	1.00		-			
				-		-			
				-		-			
				-		-			
4.2 換気			3.6	0.30		-			
1	換気量	換気計算書により換気量の1.2倍を確認	4.0	0.33		-			
2	自然換気性能		3.0	0.33		-			
3	取り入れ外気への配慮	空気取り入れ口を汚染源の少ない北西側に設置	4.0	0.33		-			
				-		-			
4.3 運用管理			4.0	0.20		-			
1	CO ₂ の監視		3.0	0.50		-			
2	喫煙の制御	建物内全館禁煙とする	5.0	0.50		-			
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.5		
1 機能性			3.4	0.40		-	3.4		
1.1 機能性・使いやすさ			3.3	0.57		-			
1	広さ・収納性		3.0	0.33		-			
2	高度情報通信設備対応		3.0	0.33		-			
3	バリアフリー計画	広島県福祉のまちづくり条例整備基準を満たしている	4.0	0.33		-			
1.2 心理性・快適性			3.6	0.38		-			
1	広さ感・景観	事務室の高さは2.7m以上屋外情報認識に十分な窓を設置	4.0	0.33		-			
2	リフレッシュスペース	全館禁煙および休養室を設置	4.0	0.33		-			
3	内装計画		3.0	0.33		-			
1.3 維持管理			4.0	0.05		-			
1	維持管理に配慮した設計	内外装共に維持管理に配慮、特に防汚性に配慮	4.0	0.50		-			
2	維持管理用機能の確保	十分なスペースの確保と維持管理の作業性に配慮	4.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性			3.8	0.31		-	3.8		
2.1 耐震・免震			3.8	0.48		-			
1	耐震性	建築基準法に定められた耐震性の20%増以上	4.0	0.80		-			
2	免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数			3.6	0.33		-			
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	21年以上～30年未満	4.0	0.23		-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09		-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	腐食が懸念される系統のダクトには塩ビライニングダクトを使用	5.0	0.08		-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15		-			
6	主要設備機器の更新必要間隔	廃棄物処理施設長寿命化計画作成の手引きを参照し計画	4.0	0.23		-			

	2.3 設備の更新				-		-	
	2.4 信頼性			4.4	0.19		-	
	1	空調・換気設備	ビルマルエアコンを出来る限り使用せず、パッケージエアコンにて計画	5.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備	再利用水及び中水の利用、立管の系統分けなどを計画	5.0	0.20		-	
	3	電気設備	可能な限り特注品を避け、既製品にて計画	5.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	有線電話網に加え、PHS網を設置	4.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.2	0.29		-	3.2
	3.1 空間のゆとり			3.4	0.31		-	
	1	階高のゆとり	各階階高4.0m以上で計画	5.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ		1.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
	3.3 設備の更新性			3.3	0.38		-	
	1	空調配管の更新性	仕上げ材を痛めることなく更新ができるよう計画	4.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性	構造材を痛めることなく更新ができるよう計画	4.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
	Q3 室外環境(敷地内)			—	0.38	-	-	3.9
	1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
	2 まちなみ・景観への配慮		公共デザイン検討会を通して周囲の景観に配慮し良好な景観の形成を配慮	5.0	0.40		-	5.0
	3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30		-	4.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	建物の一部を地域に解放する等地域活動に貢献するよう配慮	5.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	緑地等を建物の周囲に配置し敷地の緑化に配慮	4.0	0.50		-	
	LR 建築物の環境負荷低減性			—	-	-	-	3.8
	LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	4.0
	1 建物の熱負荷抑制		PAL値-24.5%を達成	4.0	0.05		-	4.0
	2 自然エネルギー利用			3.0	0.27		-	3.0
	2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
	3 設備システムの高効率化		システム効率化を図りERR26.8 ERR=26.8	5.0	0.41		-	5.0
	4 効率的運用			3.5	0.27		-	3.5
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制	運用、維持、保全の基本方針を計画	4.0	0.50		-	
	LR2 資源・マテリアル			—	0.30	-	-	4.0
	1 水資源保護			4.0	0.15		-	4.0
	1.1	節水	中水、再利用水の利用	4.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用			4.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無	再利用水及び中水補給水として利用	4.0	0.67		-	
	2	雑排水再利用システム導入の有無	プラント排水の再利用	4.0	0.33		-	
	2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.63		-	4.0
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉スラグ骨材 基礎部分	4.0	0.20		-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	浴室・便所タイル、玄関床タイル、照明器具	5.0	0.20		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能な納まりとしている	5.0	0.24		-	
	3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.22		-	4.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	壁紙に有害物質を含まない物質を使用	4.0	0.32		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68		-	
	1	消火剤	N2ガス消火採用	4.0	0.33		-	
	2	断熱材	ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材を使用	5.0	0.33		-	
	3	冷媒		3.0	0.33		-	
	LR3 敷地外環境			—	0.30	-	-	3.4
	1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物(参照値)と同等以上になるよう配慮	4.1	0.33		-	4.1
	2 地域環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制	駐車場及び駐輪場を適切に配置	5.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	施設の特性を活かし廃棄物の負荷抑制に貢献	5.0	0.25		-	
	3 周辺環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	0.33		-	
	2	振動		3.0	0.33		-	
	3	悪臭		3.0	0.33		-	
	3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制			2.4	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		1.0	0.30		-	